

# 泉北教育

今年度末から「人事異動一覧表」は全教職員に配布しません。組織内資料としてのみ作成します。

**和泉市学年主任研修 可能な範囲で参加していただきたい**

和泉市教委として参加は強制しない

2月の小学校校長会で開催が突然発表された「和泉市学年主任研修会」について、泉北教組は「開催反対」を表明して、2月25日に市教委交渉を行いました。泉北教組の要請に対する和泉市教委の回答は左記のとおりです。

## 参加は強制しない

交渉の場では新たに、研修の名称を「学年マネジメント研修」とし、研修を案

「和泉市学年マネジメント研修」について、泉北教組の要請に対する和泉市教委回答(2019年2月25日)

(1) 参加を要請する範囲は校長の判断にまかせるが、和泉市教委として参加は強制しない。可能な範囲で参加していただきたい。

(2) 来年度については、今年度参加者の意見も聞いて、開催時期や内容を検討していきたい。

(3) 今年度、実施要項の発出が遅くなったことはお詫びする。

内する対象は「平成30年度の学年主任等で、小学校120名、中学校30名」であることが説明されました。

また、交渉の場で「参加は強制しない」「可能な範囲で参加」との回答があり、校長に対しても市教委が同様の説明を行う旨も回答されました。

## 先行市では

現職死多数

交渉の場で和泉市教委は

「府下のH市の例を参考に計画した。」と説明しましたが、このH市では今年度だけで、4名の「現職死」が発生しています。研修の強化が原因の一つであるならば、今後の教訓にすべきではないでしょうか。

研修参加を強制するよう働きかけがありましたら、泉北教組にご相談ください。

### 和泉市学年マネジメント研修 実施要項

- 目的 各学校において人権教育、新学習指導要領、生徒指導などの教育諸課題について、各学年の中心である学年主任等リーダーの見識及び学年経営について交流を深めるとともに、地域における教育力の向上に資することを目的とする。
- 日時 平成31年3月26日、27日  
(午前9時から12時、午後13時30分から16時30分)  
希望する日時について集約(第2希望まで)した後、参加日時を決定、連絡します。
- 場所 和泉市教育センター
- 主催 和泉市教育委員会事務局学校教育部指導室
- 対象 和泉市小・中・義務教育学校教職員のうち平成30年度学年主任等のリーダー
- 内容 ・新学習指導要領について ・人権教育について ・生徒指導について ・期別協議  
2日間4コマの内容は全て同じ研修とする。
- その他 当日、急遽欠席する場合は管理職を通じ市教育委員会に必ず連絡する

9:00 13:30 9:40 14:10 10:10 14:40 10:50 15:20 11:00 15:30 11:50 16:20 12:00 16:30

挨拶	新学習指導要領	人権教育	生徒指導	休憩	班別協議 情報交換：取組みや課題、気づき等	まとめ
----	---------	------	------	----	--------------------------	-----



## 維新政治10年を振り返る

近くの学校に通えない!? 学区撤廃で受験競争を激化

2014年度から公立高校の通学区撤廃で受験競争と学校の序列化が府域に拡大し、ごく一部の成績上位生徒の「選択の自由」を優先する一方で、その他多数の生徒の倍率が高くなり、「近くの高校に通えない」状況も生じています。また、「進学指導特色校」を指定し、特別予算が措置されるなどエリート教育偏重の施策で「偏差値」による序列化がすすんでいます。学区縮小で受験競争を緩和し、地域の高校に通えるようにすべきです。

「3年連続定員割れ」で廃校!? 条例見直しを公立高校の役割は、学びたいと願うすべての子どもたちの「学ぶ権利」を保障し、定員にも「ゆとり」があつて当たり前です。ところが、維新の会がつくつ

た条例は、この「ゆとり」を理由に高校をつぶそうというもの。こんな道理のない施策は他の都道府県にはありません。これでは、どんなに少子化がすすんでも、子どもたちを競わせ「不合格」に減らすことになり。すでに、この5年間に6つの府立高校が、意図的につくり出された「定員割れ」を理由に廃校にされ、2019年度から5年間でさらに「府立・大阪市立あわせて8校」を廃校にする計画も出されています。

「廃校の対象となった学校は、「生徒の成長につながる」(松井知事)どころか、高校進学の「最後の砦」としてなくてはならない役割を果たしています。進学を希望するすべての子どもたちが全日制の条件で学ぶ権利を保障するため、理不尽な条例は抜本的に見直し、少子化をチャンスととらえ、学校規模の縮小、少人数学級の実施など教育条件を改善すべきです。

(「明るい民主大阪府政をつくる会」学習パンフより抜粋)



公教育の責任を放棄する府立高校つぶし

子どもと学校を追い詰める「新学習指導要領」は抜本的見直し。「チャレンジテスト」は廃止。